

平成30年度 第6回 学校経営協議会 議事録

平成30年10月13日

小平第四小学校 CS 事務局

1. 会長挨拶

本日は教職員との熟議を開催する。円滑な話し合いを。

2. 学校の現状報告

校長より

○子どもたちは、学習発表会に向けて一生懸命練習してきた。一人ではできないことを、みんなで協力して成し遂げる経験ができた。

○学校全体として児童の様子は落ち着いているが、家庭の配慮が必要な児童へは、引き続き目を配っていく。

教務より

○コミュニティスクールについて。2、5年生が地域の教育力を活用した学習のための準備を行っている。

○小中連携について。四中生がお仕事体験で来校した。

生活指導

○健全育成について。あいさつストリートをリニューアル。先月の教育委員会訪問では、あいさつについて好評価をいただく。

○いじめ防止授業を9月中に全学級で実施した。

○6年生が小平市の姉妹都市小平町に、災害被害見舞いの手紙を書いて送った。

○体力向上について。先週まで長縄チャレンジ月間を実施した。来週全校朝会で表彰。

○9月から、月生活目標の達成度をクラス毎に集計した。

○10月27日（土）3年生に歯科指導を実施する。

研究

○11月22日の研究発表に向けて、「主体的に考えること、対話すること、活用すること」を中心に、指導案作成中。

○2学期、管理職による授業参観を、国語で実施する。

副校長より

○11月22日研究発表会にCS協議会の役員用の席を設ける予定。出欠を副校長まで。

3. 次年度予算承認（副校長より）

○需用費、通信運搬費の減額1万3千円を市役所から依頼されたため、9月提示した案から変更。

→承認された

4. その他

○CSの傍聴は可能である。メモはしない、情報管理等のルールを傍聴者に提示する方法を検討。

○12月10日に、地域とともにある学校づくり推進フォーラム（文部科学省）を開催。

○資料の提示方法、説明を明確なものに。

<教職員との熟議>

グループごとの発表

A 子どもたちの課題

①自分の思いをうまく表現できない

→思考の時間を与える（6～10秒）の工夫。授業の形態工夫。話し方聞き方を提示。

②表現するが面倒（結論のみ）

→思考のプロセスを楽しめる子を育成したい。4コママンガで表現。教員はほめる。

B 対話が少ない＝共通の話題が少ない。

親と教師、親と子、教師と子の対話が少ない。

→大人がちゃんと聞く時間をつくる。具体的な問い、話し方の技術を習得させる。

C 個の力→日頃の会話、読み聞かせを増やす

環境→伝承遊びなどを通して、対話の機会を増やす

集団の力→話形の指導

大人の課題→子どもと目を合わせて対話。質が良い対話。

D 子どもに考えはあるが、伝え方が解らない。苦手。話す事への抵抗感。

→日常会話、2人、グループ、全体などの形態を工夫。

話す前に絵にかいたり文に書いたりする。輪になって話すなど、話しやすい環境づくり。

E 子どもの個性

・自分の考えがもてない、筋道を立てて話せない。→子の状況に合わせて指導する必要がある。

自信をもって発言できるように、聞く側の姿勢を指導（うなづく、拍手）

・教師、子だけでなく、いろいろな人と対話できるように

・魅力ある教師。

・ならのみ学級の先生のように、子ども一人一人に目を配った指導を。

<次回 学校経営協議会 11月28日（水） 17:30より>